会　　記・Proceedings

1989年度第8回役員会

1990年3月12日（月），於東京水産大学水産資料館2階会議室.

出席者：落合，新井，佐藤，本間，阿部，黒沼，佐野，松浦，多紀，馬場，藤田，野嶋（学会事務センター）.

1．前回議事録の確認.

2．報告事項．編集：36巻4号は3月5日に発行した．37巻1号は現在印刷中．手持ち原稿64篇．庶務：日本学術会議事務局から日本学術会議第15期会員の選出に係る学術研究団体の登録（6月30日締切）の書類がきているので書類を作成して送る.

3．1989年度決算案，1990年度予算案について検討した.

4．1990年度年会，第1回評議員会，第1回総会の運営について検討した.

5．その他.

役員会終了後，年会会場の下見をした.

1990年度第1回役員会

1990年5月11日（金），於東京水産大学水産資料館2階会議室

出席者：落合，上野，富永，谷内，多紀，本間，新井，佐藤，松浦，丸山，宮，馬場，藤田.

1．前回議事録の確認.

2．報告事項．会計：1990年度年会収支報告．懇親会費の残額を貸借対照表に載せ，次年度のためにプールする．編集：37巻1号は5月末日に発行の予定．会員名簿作成のための葉書を37巻1号に入れる．会員名簿を別冊にした場合の郵送経費を庶務で次回の役員会までに見積る．手持ち原稿63篇．庶務：日本学術会議に提出する役員カードを5月末日までに庶務に提出する．国会図書館へ年会の要旨を寄贈する．日本学術会議動物研連報告：科学研究費の配分等に関する動物研連内の現状について報告があった.

3．1990年度年会の反省．懇親会は年会の申し込みの時点で受け付ける，その他，運営について反省した．来年度は科学博物館分館で年会を行うこととした.

4．第22回国際動物行動会議（1991年8月，京都の大谷大学で開催）の協賛をすることに決まった.

5．秋季のシンポジウムは1990年11月1日（木）に近畿大学で“魚類の核型分化と種分化”というテーマで開催されることに決まった.

6．その他.

国際魚類研究会議会計報告（1987年－1990年5月まで）がなされ，事務処理委員会委員の交代を早急に審議すること，バックナンバーの処理の検討，バンコクで開かれる第3回国際魚類研究会議への寄付等について話し合われた.

日本学術会議だより No. 16 (1990年2月)

日本学術会議は，科学の向上発達を図り，行政，産業及び国民生活に科学を反映浸透させるというその設置目的に沿うための活動の一環として，毎年，公開講演会を開催しているが，1989年は10月27日と11月18日に本会議講堂で，また12月8日に仙台市勾当台会館で計3回開催した．テーマはそれぞれ「人間は地球とともに生きられるか」，「“人権の歩み”から何を学ぶか—フランス人権宣言200年を記念して—」，「くらしと学問の近未来—これからのくらしと学問—」であった.

本会議の1989年の学術交流事業としては，10月25日から11月4日まで，イタリア及びスイスへ，渡邊　格副会長以下5名の会員からなる代表団を，また12月4日から12日まで，インドへ，大石泰彦副会長以下6名の会員からなる代表団をそれぞれ派遣した．各訪問先では，科学技術振興政策や学術研究体制，両国間の今後の積極的な学術交流などをめぐって熱心に意見の交換がなされた.

日本学術会議だより No. 17 (1990年5月)

日本学術会議は1990年4月18日から20日まで第109回総会（第14期・第5回）を開催した．本総会では「地球圏—生物圏国際協同研究計画（IGBP）の実施について（勧告）」が採択され，直ちに内閣総理大臣に提出された．また，人間活動と地球環境に関する特別委員会報告—人間活動と地球環境について—が行われた.